

令和6年度すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム報告書

1 趣旨

墨田区における地域福祉の推進とボランティア活動への参加促進を図るため、民生・児童委員、ボランティア活動者、小地域福祉活動参加者、福祉施設・福祉事業者など地域福祉とボランティア活動の関係者や活動に関心を持つ者等が一堂に会し、地域福祉・ボランティア活動について一緒に学び、考え、交流し、広く活動への参加を呼びかけます。

令和6年度は「世代を超えてつながっていく 子どもも大人も立ち寄れる場所（プラットフォーム）」をテーマに開催しました。

2 日時

令和6年7月6日（土）午後1時から午後4時まで

3 場所

すみだリバーサイドホール イベントホール

4 内容

- （1）講演「若者から高齢者、誰でもウェルカム！地域の居場所 地域福祉プラットフォームとは」
- （2）グループディスカッション「誰でも気軽に立ち寄れる場所ってどんなところ？」
- （3）まとめ

5 主催

すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム実行委員会、墨田区、墨田区社会福祉協議会

6 参加者数

所属等	人数	所属等	人数
ボランティア・個人	34名	興望館関係者	2名
民生・児童委員	10名	実行委員	11名
高齢者支援関係者	6名	墨田区社会福祉協議会職員	11名
朗読奉仕「くさぶえ」	6名	厚生課職員	11名
区立両国中学校ボランティア部	4名	区職員	2名
あしたの会	3名	区長・墨田区社会福祉協議会会長	2名
一般社団法人藝と	2名	合 計	104名

7 概要

（1）司会者紹介

今年度は実行委員会の林委員、石橋委員が司会者でした。

（2）開会あいさつ

開会にあたり、五十嵐実行委員長、山本墨田区長、須藤墨田区社会福祉協議会会長

から挨拶がありました。



(3) 講演

テーマ：若者から高齢者、誰でもウェルカム！地域の居場所 地域福祉プラットフォームとは

講師：山賀 智晴 氏

(社会福祉法人 墨田区社会福祉協議会)

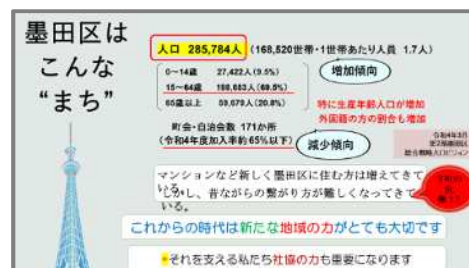


【導入：墨田区の概要】

墨田区は昭和22年に北部の向島区と南部の本所区が合併してできました。墨田区の地図を見ていただくと、北と南で特徴が異なるように見えます。北部地域は、大正時代からの長屋も存在するなど、古い町並みが現在も残っており、いわゆる下町風情が今も息づいています。一方南部地域は、両国駅や錦糸町駅等があり、都心へのアクセスが便利ことから、近年はマンションの増加とともに若年層の増加につながっています。こうした北部南部の地域性の違いから、同じ区内であっても街の雰囲気は異なります。

墨田区の人口は、令和6年4月1日の統計で約285,784人となっています。ここ数年新しいマンションなどの建設ラッシュで、単身者や若いカップル層などの方が増えたため、墨田区の人口は増加傾向にあります。若い世代の転入者が増えているためか、高齢化率に関しては20.8%であり、全国平均の29%、都内平均の22.8%より低くなっています。また、町会・自治会は171か所ありますが、町会・自治会への加入率は減少傾向にあり、令和4年度の加入率は約65%以下となりました。都内ではまだ加入率は高いほうのようですが、新しく町会に加入する人は年々減っているようです。

地縁の力が地域の力となっていた時代から、それを支えている方々が高齢化してきており、新たな住民との繋がりも希薄になりつつある現状を、私たち墨田区社会福祉協議会が支援しながら、地域力向上を目指していく必要が一層強まっています。



【地域福祉プラットフォームとは】

社会福祉協議会（略称“社協”）は、社会福祉法に基づいて全国の都道府県・市区町村に設立された社会福祉法人です。墨田区社会福祉協議会には区内の全町会・自治会や正会員、区民の特別賛助会員などに入会していただいております。その会費や区の補助金や委託金、および皆様からのご寄付で運営しています。そして一昨年、創立60周年を迎えることができました。私たちは、地域福祉の推進を図ることを目的とし、

墨田区で生活する皆さんが住み慣れた地域で自立し、安心して生活できる社会が実現されることを目指して、さまざまな活動を行っています。

今回のテーマであり、墨田区の委託事業である地域福祉プラットフォーム事業は「地域活動を支援」する地域福祉活動担当という部署で行っています。地域福祉プラットフォームは世代や属性を問わず、誰でも気軽に立ち寄れる地域の居場所であり、困りごとの相談の場でもあります。また、季節やニーズに応じたイベント、講座、勉強会の開催もしています。現在は、区内の京島、八広、本所の3か所行っており、墨田区社会福祉協議会の職員がコミュニティ・ソーシャルワーカーとして常駐しています。イベントや講座などを除いて、予約不要、出入り自由で、好きなときに気ままに「ぷらっと」立ち寄れる場所となっています。開所時間は午前11時から午後4時までで、開所中は入口にのぼり旗を立てています。小さなお子さんが遊ぶことができるキッズスペースには、おもちゃも用意しております。その他にも、地域に応じた各種イベントや講座を随時開催しています。

令和6年7月17日（水）には、旧隅田小学校の体育館に4つ目のプラットフォーム「墨田」がオープンします。開所時間は午後1時から午後4時半となります。区の計画では将来的に、区内7か所の設置を予定しており、今年度の後半に南部地域にもう1か所開設予定となっています。

なお、これらの地域福祉プラットフォームですが、気軽に『ぷらっと』来られるようにとの思いを込めて、7月から愛称を『ぷらっと』とすることとなりました。『ぷらっと+地域名』となりますので、『ぷらっと八広』や『ぷらっと本所』などぷらっとの後に地域名がつく名称となります。

【各地域福祉プラットフォームの特徴】

「ぷらっと京島」

キラキラ橋商店街の中心部に位置しており、墨田区の委託事業になる前の平成28年に開設されました。建物は大正時代に作られて、関東大震災にも耐えた家を、耐震工事を施して使用しています。京島地域は、戦時中、奇跡的に戦火を免れたことから長屋が多く残り、豊かな風景をつくっている街の一つです。商店街の中心にあり歴史ある建物と下町のコミュニティが育まれているという生活と経済が密接しているのが特徴です。最近では若者のサブカルチャー的な新たなお店も加わりつつも、昔ながらの雰囲気の中で人の交流が行き交う魅力的な住環境です。「ぷらっと京島」は、火・木の午前11時から午後4時まで、通常職員2名が対応しています。商店街の買い物帰りに立ち寄ったり、馴染みの方たちと井戸端会議をする風景がよく見られます。読み聞かせボランティアに来て下さる方や折り紙のイベントなどもあり、地域の方々が得意としている分野で、一緒に出来るイベントを中心に展開しています。プラットフォームの中では一番アットホームな雰囲気が出ています。例えば「毛糸のポンポン作り」は、利用者の声から実現したイベントでもあります。



「ぶらっと八広」

八広はなみずき高齢者支援総合センターのフリースペースを火・木の午前11時から午後4時までお借りして運営しております。重層的な支援が必要な8050問題、ヤングケアラーなどの連携も同じ場所なのでスムーズに行えます。八広地域は、昔からなめし皮工場や関連の油脂工場の多い地域で中小の町工場が多く存在していました。銀座や新宿といった都心へのアクセスが便利です。現在は新旧の戸建て住宅や中低層マンションなど、集合型住宅が密集し、ベッドタウンとなっています。駅のすぐ近くに荒川が流れているので、河川敷や公園などの緑が多く子ども連れで出かけやすい環境です。

ここでは、地域包括支援センターとの連携などを中心に地元企業とのコラボやイベントを多く企画しています。高齢者施設内であることから、多世代に周知するためにこうしたイベントを季節ごとに開催しています。ポッチャ体験会では、プラットフォーム来場者の親子でご参加いただき、また折り紙ボランティアでは、でき上がった作品の近隣福祉施設への寄付等を行っています。

また、SDGsを意識した活動やイベントを展開しており、近隣企業から廃棄するなめし皮を頂いて、レザータッセルを作り、福祉施設に寄付するなどの活動もしています。ほかにも昨年夏には、野菜の切りくずを使って描くエコバッグづくりの体験会も行いました。

「ぶらっと本所」

本所地域プラザ「BIGSHIP」で月・水の午前11時から午後4時まで、イベントルームBと調理室で運営しています。本所地域は、大規模な商業・業務施設、高層住宅も立地する墨田区の行政拠点であるとともに、隣接する押上・とうきょうスカイツリー駅周辺地区と連携した区の中心核となっています。

他地区と比べて戸建てが少なく、新築マンションなどが増え、新しく転入される若い住民が多い地域となっています。本所地域プラザ BIGSHIP 内で開催しているため、親子連れの来場者が多くいらっしゃいます。折り紙教室も高齢者に混ざり、小さなお子さんにご参加いただく時もあり、和気あいあいとした雰囲気でもアクティブな活動の場としての機能も発揮しています。

最後に、来月7月17日(水)にオープンする「ぶらっと墨田」です。今は廃校になっている鐘ヶ淵駅から徒歩5分の旧隅田小学校の体育館で、月・水の午後1時から午後4時半の開設を予定しています。相談や交流、おもちゃスペースなど体育館の広さを活かした利用が期待されます。令和6年6月26日(水)に地域の方々に向けてプレオープンをしました。民生委員の方や町会役員の方などがご来場され、懇談会では体育館を利用した多世代体操や名作映画の鑑賞会など、色々なご意見があげられました。

みなさんのアイデアをぜひ、これからのプラットフォームの運営に活かしていきたいと思います。

【地域福祉プラットフォーム 相談件数】							
令和4年度 相談件数				令和5年度 相談件数			
京島	77件			165件			
本所	50件			45件			
八広	41件			132件			
合計	168件			342件			
相談内容(令和5年度)							
	相談	児童	障害	高齢	子育て・子育て	生活支援・生活支援	合計
京島	2	0	32	46	17	68	165
本所	2	1	6	8	7	21	45
八広	0	3	48	24	36	20	132
合計	4	4	87	78	60	109	342



(4) グループディスカッション

テーマ：誰でも気軽に立ち寄れる場所ってどんなところ？

趣 旨：講演の内容を踏まえて、地域福祉プラットフォームがより活性化していくために必要な機能、やってみたいこと、PR方法等を13グループに分かれて考えました。



(5) まとめ (グループ発表・ご感想)

【第4グループ：加藤委員】

今回のテーマにある、「誰でも」とはどこまでの範囲かという意見がありました。講演の中では、外国にルーツを持つ方はどのカテゴリーにも分類されていませんでしたが、区内にたくさん暮らしていると思うので、その方たちの巻き込み方について話し合いました。

外国にルーツを持つ方の中には、日本語でのコミュニケーションが得意ではない方もいるので、言語・非言語の二種類のツールを使い分けることが大切だと考えました。具体的には、言語コミュニケーションであればその方の現地の料理を紹介したり、一緒に作ったりすることができると思います。また日本のアニメは海外でも人気なので、日本のアニメや絵本を活用したコミュニケーションも考えられます。また、プラットフォームで開催されたスマホやパソコンの教室を通じて、海外の言語や文化を知ること、より相手への理解が深めることができるのではないかと思います。

次に非言語コミュニケーションですが、一緒にスポーツで汗を流すことが効果的ではない意見がありました。ラジオ体操は音楽があるので、日本語が得意でない方でも、音楽に合わせて身体を動かすことができ、そこから発展してカラオケ等でも国境を越えて盛り上げられるのではという案が出ました。ほかには、現在プラットフォームに訪れている人からの意見を聞いて、それをただ取り入れるのではなく一緒に作り上げていくことができたなら、すごく魅力的だという意見がありました。また、それぞれの事情で訪れなくても訪れられない人もいると思うので、出張プラットフォーム、青空プラットフォームなど、プラットフォーム自体が移動するのも良いという意見が出ました。現時点では施設数が少ないので、増設することや、たまに土日祝に営業することが必要なのではという案もありました。

最後に、プラットフォームとは様々な人が集うひとつの箱だと思っておりますが、このグループには、外国にルーツを持つ方や、学生の方、墨田区に何十年も住んでいる方や、地域のために活動する民生委員の方・消防団の方などがいて、とても良い話し合いができました。まさに、この小さなコミュニティがプラットフォームの「誰でも」というところに当てはまっているのではないかと感じ、もっと拡大していけたら良いのではと考えました。

【第6グループ：谷委員】

プラットフォームは誰でも使える場所ということですが、ひとりでのんびりできる場所なのか、それともつながることができる場所なのかによってアプローチの仕方が変わるため、PR が難しいといった意見

がありました。また、高齢単身男性は参加や来訪をためらってしまう人が多いと思うので、どうすればそのような人が参加しやすくなるかということも話題に上がりました。例えば映画の上映会の開催や、絵本をいくつかならべておいて、皆さんが好きなのはどれですか？という問いかけをプラットフォーム側から行うことが有効ではないかと思います。自分から発信しなくても、その場に何となくいられるような状態を作っておけると、参加しやすくなるのではないかという意見がありました。開催曜日と時間が決まっているのはハードルが高いという意見もありましたが、全て社会福祉協議会で対応するのは難しいと思うので、地域の方の協力等で、皆さんに伝えたいことを伝えられる場として利用できれば、プラットフォームの活性化につながると考えました。

【第9グループ：石井委員】

私たちのグループには高校三年生の男子が2名おり、とても新鮮な意見を聞かせてくれました。初めに、プラットフォームを多くの方に紹介するにはどうしたらよいか、ということ話をしました。若い方々には、TikTok、Instagram、X等を利用するのが良いのではないかという意見が出ました。また、ダンスや音楽など、流行を取り入れたプラットダンスを作るほか、着ぐるみやゆるキャラを作ってお若い人に興味を持ってもらうのはどうかといった意見もありました。また、地域の夏祭りなどのイベントと連携して、ゲームや景品を付けた子供向けのイベントをするという案もありました。ほかにも関心の高い防災イベントを開催することも有効だと思います。八広小学校では防災お泊り会というイベントを開催しており、子供たちとカレーを作ったり、一緒に防災について考えるイベントがあります。このイベントのように、新聞紙での紙皿作りや紙スリッパ作り体験など、一緒に防災について実践できるイベントがあると良いと思います。そして、地域福祉プラットフォームは、ぶらっと行けるということなので、各地域、歩ける距離に増設して欲しいという意見もでました。また、学生が行ける時間に開いていないので、17：30頃まで開所してほしい、もしくは期間限定で夏休み・冬休みに勉強ができるスペースがあれば学生が集まるのでは、といった声や、Wi-Fiがあれば嬉しいといった声がありました。私たちのグループは皆、ボランティアにとっても関心がある方々で、今回のグループディスカッションを通してお互いに力づけられ、とても良い話し合いをすることができました。

【五十嵐実行委員長】

本日は、どのテーブルでも活発に会話が弾み、様々なアイデアが出たのではないかと思います。発表は3つのグループからでしたが、もし全てのグループが発表したら、それぞれで素敵なアイデアを聞くことができたのではないかと感じています。私は施設の職員でもあります。私のグループでは「それぞれの施設もプラットフォームだね。」という意見がありました。社会福祉協議会のプラットフォームを支えながら、私たち自身もそれぞれの場で、いろんな人がぶらっと来れる場所を作りたい、と思うようなエネルギーをいただける時間でした。

【社会福祉協議会 新井様】

五十嵐委員長のおっしゃったように、残念ながら全てのグループのお話は聞けませんでした。どのグループでも素敵なアイデアが出ていると思うので、拝見させていただきたいと思います。そして、実現可能なものはぜひ実現したいです。また、こういったアイデアを実現するには、今回ご参加くださった皆様の参加が必要ですので、ぜひお近くや、講演を聞いて興味を持っていたらプラットフォームに足

をお運びいただければと思います。

(6) 閉会

墨田区社会福祉協議会前田事務局長から、挨拶があり閉会となりました。

8 その他

(1) 実行委員会の開催

本フォーラムの実施に向け、「すみだ地域福祉ボランティアフォーラム実行委員会」を設置しました。

回数	日時・場所	内容
第 1 回	4 月 6 日 (木) 午後 1 時 3 0 分 3 1 会議室	役員の選出、テーマ・内容の検討
第 2 回	4 月 2 4 日 (水) 午後 1 時 3 0 分 3 1 会議室	内容の検討
第 3 回	5 月 1 6 日 (木) 午後 1 時 3 0 分 8 2 会議室	テーマ・役割分担の検討
第 4 回	6 月 6 日 (木) 午後 1 時 3 0 分 8 2 会議室	GD の進行・役割分担の検討
第 5 回	書面により実施 (6 月末)	配布資料の事前送付及び最終確認

(2) 実行委員 (敬称略)

五十嵐 美奈 (委員長)	林 佳慧	上原 敏也	能重 建一
川名 百世 (副委員長)	石橋 友樹	谷 由美子	若菜 進
石井 智子	加藤 麻衣	前田 恵子	佐久間 英樹

(3) 広報

区のお知らせ (6 月 2 1 日号) 墨田社協だより (6 月号) 墨田区ホームページ、墨田区公式 X (旧 Twitter) 墨田区社会福祉協議会ホームページ、チラシの配布等により、PR を行いました。

(4) アンケート結果

Q 1 すみだ地域福祉・ボランティアフォーラムに参加したことがありますか？

初めて	2 7 名	3 回目	1 名	9 回目	1 名	1 2 回目	2 名	多数	1 8 名
2 回目	6 名	4 回目	1 名	1 1 回目	1 名	1 3 回目	2 名		

Q 2 すみだ地域福祉・ボランティアフォーラムは何で知りましたか？ (複数回答可)

区・社協のホームページ	4 件	知人等から誘われて	7 件
チラシ	10 件	所属団体からの連絡	24 件
区報・社協だより	16 件	その他	5 件

Q 3 内容について

ア 全体

よかった	4 8 件
どちらかといえばよかった	1 1 件

イ 講演会

よかった	47件
どちらかといえばよかった	11件
どちらかといえばよくなかった	1件

ウ グループディスカッション

よかった	50件
どちらかといえばよかった	7件

エ 地域福祉プラットフォームに訪れたことはありますか？

訪れたことがある

本所	10件
京島	9件
八広	6件

(参考) ~20代 0件

30代 3件(京島2件、八広1件)

40代(本所1件、京島1件)

今後も訪れたいと思う。	17件
特に訪れたいとは思わない。	0件

訪れたことがない。

今後も訪れたいと思う。	31件
特に訪れたいとは思わない。	1件
理由：どこも遠いから	

Q4 本日の感想や今後取り上げてほしいテーマ等

【～20歳代】

- ・プラットフォームを初めて知ったので、興味があるイベントに参加したいと思います。
- ・福祉について曖昧にしか知らなかったのですが、グループディスカッションをして福祉について知るのが楽しくなりました。
- ・ぷらっとのような事業が他の市区町村にもあるのかどうか気になりました。私の住む地域にもあったらいいと思いました。
- ・様々な立場、年代の方と話すことができました。

【30歳代】

- ・他のプラットフォームの取組が聞けてよかった。グループワークも地域の方の意見が聞けて参考になりました。
- ・社協の窓口以外でも気軽に入ることができる相談場所があるのはとても嬉しいですし、ありがたいですね。優しい地域の住人達との出会い、繋がりは本当に墨田区の強みだと思います。フォーラムをオンライン配信で見ることができると助かります。
- ・児童・高齢・障害、その他すべての人が助け合える場所になれるよう力になりたい。

【40歳代】

- ・話しやすいムードで皆さんと色んなお話しができて有意義な時間でした。多文化共生について取り

上げていただけると！

【５０歳代】

- ・プラットフォームの場所を確認したいです。
- ・小中学生のボランティア活動の普及

【６０歳代】

- ・ぷらっと京島は住んでいる地域にあるので、気軽に立ち寄りたいが、民生委員・児童委員をしていても意外に立ち寄りにくいので、どうしたらよいのか思案しています。
- ・３か所の活動実態を知ることができた。１ぷらっとあたり平均１４人/日という利用状況は決して多いとは言えない。広報不足か？

【７０歳代】

- ・グループディスカッションでは色々な意見が聞けて良かったです。海外経験者とか学生さんとかの幅広い意見を聞けました。
- ・ぷらっと本所を利用している者です。いつも社協の方の対応に心が癒され、快適な時間を過ごさせていただいています。私の居場所になっています。

Q 5 現在ボランティア活動・地域福祉活動をしていますか？

全件数		～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	年齢不明
している	46 件	6 件	3 件	2 件	6 件	8 件	16 件	4 件	1 件
していない	12 件	2 件	3 件	2 件	4 件	1 件	0 件	0 件	0 件

未回答 1 件

Q 6 具体的にどのような活動をされていますか？

全件数		～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	年齢不明
町会自治会活動	12 件				2 件	4 件	4 件	1 件	1 件
福祉施設の手伝い	6 件				1 件	1 件	2 件	2 件	
地域の障害者や高齢者への見守り、手助け	21 件		2 件		2 件	5 件	9 件	3 件	
災害ボランティア	3 件	1 件				1 件	1 件		
地域の子どもや子育て世帯への見守り、手助け	10 件	5 件			2 件	2 件		1 件	
国際交流・国際協力	5 件	1 件					3 件		1 件
各種イベント運営の手伝い	10 件	2 件	1 件			1 件	4 件	2 件	
その他	9 件			1 件	1 件	1 件	5 件	1 件	

その他：障害者へのボランティア、地域交流、絵本朗読、手話サークル、音訳

Q 7 今後どのような活動をしてみたいですか？

全件数		～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	年齢不明
町会自治会活動	8 件					3 件	4 件	1 件	
福祉施設の手伝い	5 件	3 件					1 件	1 件	
地域の障害者や高齢者への見守り、手助け	16 件	2 件	1 件	1 件	2 件	4 件	5 件		1 件
災害ボランティア	5 件		2 件			1 件	2 件		
地域の子どもや子育て世帯への見守り、手助け	16 件	4 件		3 件	1 件	3 件	4 件	1 件	

国際交流・国際協力	13 件	2 件		1 件	5 件	2 件	3 件		
各種イベント運営の手伝い	15 件	5 件		2 件	3 件	1 件	3 件	1 件	
地域福祉プラットフォーム	12 件		1 件		4 件	4 件	3 件		
その他	0 件								

Q 8 年代

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
～ 20 代	8 名	40 代	4 名	60 代	9 名	80 代	4 名
30 代	6 名	50 代	10 名	70 代	16 名	未回答	2 名

参加者の年齢の推移（平成 29 年度～令和 6 年度）

アンケート提出者から算出

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	20-40 代	50-80 代
29 年度	0%	3%	5%	22%	33%	22%	4%	8%	92%
30 年度	4%	4%	9%	11%	30%	30%	5%	17%	83%
元年度	1%	9%	7%	17%	25%	27%	13%	17%	83%
3 年度	0%	4%	2%	11%	25%	40%	9%	6%	94%
4 年度	8%	3%	3%	16%	16%	35%	9%	14%	86%
5 年度	14%	6%	7%	18%	29%	17%	9%	27%	73%
6 年度	14%	10%	7%	17%	15%	27%	7%	31%	66%

Q 9 住まい

墨田区内：44 名 墨田区外：12 名 未回答 3 件